

慢性の痛みに関する検討会 開催要綱(案)

1. 概要

近年、人口構造や疾病構造の変化により、慢性疾患を対象とする対策の重要性が高まっている。こうした状況の中、これまで厚生労働省においては、生活習慣病や難治性疾患、腎疾患、リウマチ・アレルギー疾患等の対策が推進されてきた。しかしながら、必ずしも具体的な対策の対象となっていない慢性疾患も存在するため、本年「慢性疾患対策の更なる充実に向けた検討会」を実施し、その中で、系統的な取組がなされていない代表的疾患として、筋・骨格系及び結合組織の疾患等が挙げられたところである。

筋・骨格系及び結合組織の疾患を中心とする「慢性の痛み」を来す疾患は、疾病を有する者のQOLの著しい低下につながり、就労困難をまねくなど、社会的損失も大きい。

以上のような背景及び問題意識のもと、「慢性の痛み」を取りまく課題を整理し、今後の対策のあり方に資するための検討を、厚生労働省健康局長の下、有識者の参集を求めて行う。

2. 検討事項

- (1) 「慢性の痛み」をとりまく課題について
- (2) 「慢性の痛み」対策の今後のあり方について
- (3) その他

3. 構成員

別紙参照

4. その他

- (1) 検討会に座長を置く。
- (2) 健康局長は、必要に応じ、構成員以外の有識者の参加を求めることができる。
- (3) 検討会の事務局は厚生労働省健康局疾病対策課が務める。
- (4) 本要綱に定めるもののほか、その他検討会の運営に関して必要な事項は、検討会において定める。

「慢性の痛みに関する検討会」

構成員名簿

氏名	所属
安達 知子	母子愛育会愛育病院産婦人科部長
牛田 享宏	愛知医科大学学際的痛みセンター教授
内田 健夫	日本医師会常任理事
内山 靖	名古屋大学医学部保健学科教授
片山 容一	日本大学医学部脳神経外科教授
葛原 茂樹	国立精神・神経センター病院長
真田 弘美	東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻教授
柴田 政彦	大阪大学大学院医学系研究科疼痛医学寄附講座教授
竹内 勤	慶應義塾大学医学部リウマチ内科教授
辻本 好子	NPOささえあい医療人権センターCOML理事長
戸山 芳昭	慶應義塾大学医学部整形外科教授
宮岡 等	北里大学医学部精神科学教授